

令和7年度〔自己評価報告書〕

学校番号	学校名	校長名
3	川崎市立川崎総合科学高等学校定時制	濱野 雄功

学校教育目標	今年度の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ・ 真理を探究し、高邁な人格の育成に努める ・ 専門の知識と技術を習得し、勤労を愛する精神の育成に努める ・ 身心を鍛錬し、明朗にして良識ある社会人の育成に努める ・ 教養を高め、豊かな創造力と健全な批判力の育成に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の資質・能力の向上、学校の組織力の強化 ・ 学習指導・生活指導・進路指導の一体化 ・ 個に応じた支援・指導の推進 ・ 外部との連携・効果的な学校広報の推進

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 教職員の資質・能力の向上	研修への積極的な取組み	計画的な学校内外での研修を通して、教科、学科、分掌、委員会等の専門的な知識・技能の向上に取り組んでいる。	休業期間を利用し、研修に参加し、教員の資質向上に努めるとともに、専門的知識・技能を深める校内研修を積極的に取り入れていきたい。
2 学校の組織力の強化	校務分掌・各種委員会等の組織力の強化	組織としての役割に責任を持ち、積極的に校務を遂行できるよう組織力を強化するとともに、横断的・縦断的な検討を行い、改善を図った。	今後は各校務分掌内の係業務の効率化と平準化を図っていく。また、委員会も含め、各業務のマニュアルについては毎年見直しを行う。
3 学習指導・生活指導・進路指導の一体化	学習指導・生活指導を通して、進路指導の充実	学力差のある生徒と日頃からコミュニケーションを取り資格取得等に取り組ませることから卒業後の進路を意識させた学校生活を図った。	基礎学力の定着を図るとともに生徒への声掛けにより信頼関係を築き、進路選択の際に必要な資格・検定の取得を目指す。
4 個に応じた支援の推進	個を大切にした支援の充実	職員会議及び成績会議の中で支援を要する生徒情報の共有を行い、職員間での理解を深めた。	継続して学校巡回カウンセラー、地域支援課、SSW等の協力のもと関係機関との連携を図りながら、支援が必要な生徒に対応していく。
5 個に応じた指導の推進	個を大切にした指導の充実	1年生の教育課程に、基礎学力の充実に目的とする学校設定科目を設定し、複数の教員によるきめ細かな指導にあたった。	入学する生徒一人ひとりの状況を把握し、改善策を考え、より充実した基礎学力の定着を図るとともに、引き続き課外での支援を行う。
6 外部との連携の推進	開かれた学校、信頼される学校づくりを推進	外部との連携としてクリエイト工学科機械コースの課題研究を通して幸区役所から依頼された給水スポット及び案内表示を製作した。また、教育委員会の方々に参加いただき発表会も行った。	来年度も引き続き、外部からの依頼を受けて生徒たちに依頼商品の聞き取り、製品の安全性、コスト等を考えさせものづくりを通した達成感を学ばせる。
7 効果的な学校広報の推進	効果的な広報活動の方法を検討	全公立展や公私合同説明会を通し定時制高校の存在を理解していただき、学校説明会を行うことより専門高校への理解を深めた。	学校説明会の土曜日開催も考慮に入れるとともに、入選直前まで進路について考えている生徒及び保護者に対して個々の対応を行う。
学校関係者の評価		学校運営のまとめ	
<p>学校教育推進会議において、これまでも地域の行事に生徒が参加しているが更に協力して取り組んでいきたいこと、これまでは吹奏楽や軽音楽、神輿などであったが、スポーツ大会の参加なども提案された。また地域の防災に関して学校での取組やドローンの活用などのご意見をいただいた。</p>		<p>生徒数の減少に伴い、活動に支障が出ている。学校広報に更なる工夫が必要と考えられる。昨今、支援の必要な生徒が増加しており、引き続き外部との連携を含め、これまで以上に組織的に取り組んでいくことが重要である。</p> <p>今年度、幸区役所との連携を実施した。今後も様々な箇所と連携を検討していきたい。引き続き、基礎学力の定着およびドローン学習を学校の魅力として広報していきたい。</p>	